

(1)事業の概要等

事業番号	B0701-1
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	個別歯科健診事業(壮年期等保健事業)					担当部			健康生きがい 支え合い推進部		
	事業期間	平成23年度	～	令和7年度以降			担当課			保健センター		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	7	展開 方向	1	担当係			成人保健係		
	予算区分	一般会計	款	4	項	1	目	4	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	・健康増進法 ・健康日本21 ・小牧市まちづくり推進計画 ・健康こまきいきいきプラン					事業種別			一般事業		
	目的・成果(何のために、どのような成果を期待するか)	近隣の歯科医院で歯科健診を受診できる環境を整備することにより、全身の健康状態に深く関係する歯周疾患や加齢にともなう口腔機能の低下などの早期発見・早期治療を図るとともに、受診者が歯・口腔の健康に関する意識を高め、必要な行動を促すことを目的として、40歳から80歳の5歳刻みの市民を対象に個別歯科健診を実施します。										
	対象(何・誰を対象に)	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳の市民										
	内容・手段(目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>■R4実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者に個別通知を行い、市内の実施歯科医療機関における歯科健診を実施。 全身の健康状態と深く関係する歯周疾患の早期発見・早期治療を図り、かかりつけ歯科医の定着を図ることを目的に、個々の都合に合わせて近隣の実施歯科医療機関で歯科健診を受診できるよう市内実施歯科医療機関での歯科健診を実施。 この事業をとおり、歯牙の早期脱落を予防し、加齢に伴い歯・口腔の健康課題として見受けられるオーラルフレイルの予防につなげることができるよう啓発を行っている。 周知方法として、令和4年度は個別通知の他、広報に掲載するとともに、ホームページやLINE等市公式のSNSを活用するとともに、他課と共通する対象者に対し、チラシを同封して郵送するなどし、他課と連携して周知啓発を行った。 <p>■直接経費(令和4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費 298千円 委託料 8,329千円 通信運搬費 1,398千円 計 10,025千円 										
受益者負担	無											

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
直接経費	決算額	財源						
		一般財源	千円	7,063	8,109	7,353	7,853	
		国・県支出金	千円	1,646	2,331	1,750	1,810	
		その他	千円	166	184	276	362	
	計(A)	千円	8,875	10,624	9,379	10,025		
	対前年比	%	—	119.7%	88.2%	106.8%		
	予算額	千円	9,041	10,809	9,656	10,388	11,180	
人件費	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30		
	正規職員(平均賃金)	千円	2,246	2,246	2,246	2,246		
	その他職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	その他職員(時給×時間)	千円						
	計(B)	千円	2,246	2,246	2,246	2,246		
事業費合計(C=A+B)		千円	11,121	12,870	11,625	12,271		

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	7	展開方向			1
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1	いきいき世代個別 歯科健診受診率	%	↗	8.2	10.8	8.9	9.4	
2								
3								

指標	指標ほか		単位	R1	R2	R3	R4	R5
	成果指標		目標					
			実績					
			目標					
			実績					
	活動指標	受診率	%	↗	↗	↗	↗	↗
			目標	8.2	10.8	8.9	9.4	
		受診者数	人	目標				
				実績	1,369	1,757	1,459	1,590
	単 位 あ た り 事 業 費	受益者数(a)		人	1,369	1,757	1,459	1,590
受益者あたり事業費 (=C/a)		円	8,123	7,324	7,967	7,717		

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>壮年期保健事業における個別歯科健診事業は、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳75歳・80歳を対象に実施する個別歯科健診であり、この事業をとおり、全身疾患とも関係の深い歯周疾患の予防及び加齢とともに歯・口腔の健康課題として挙げられるオーラルフレイルの予防につなげることができるよう、環境整備を実施している。</p> <p>本事業はこれまで40歳から70歳までの10歳刻みの市民を対象に実施していたが、令和3年度75, 80歳の市民を対象者に追加して拡大を行い、40歳から80歳まで5歳刻みの市民への働きかけを実施している。その結果、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、受診者数は減少したものの、令和4年度の受診者数は令和3年度を100人ほど上回る結果となった。</p> <p>課題としては、以前より歯と口腔の健康づくりに関する関心は高まってきたが受診率の伸びが緩やかな点が上げられ、更なる周知が必要と考える。</p>					
	今後の実施内容	<p>歯周病やオーラルフレイルは、全身の健康状態に深く関係しており、自覚症状がないまま悪化し、口腔機能の低下や残存歯数の減少をともない、食事や会話に大きく影響を及ぼすなど日常生活に支障をきたすため、早期発見・早期予防に向けた取組みが重要である。これらを踏まえ、オーラルフレイルに関する健診項目が未着手であることも課題であることから、R6より実施を予定している。</p> <p>本事業は、対象となる市民が自身の都合に合わせ、近隣の実施歯科医療機関において歯科健診を受ける環境を整えることで、かかりつけ歯科の定着化を推進し、自身の口腔内の把握や歯科疾患の早期発見、早期治療、また正しい知識の啓発を行うことにより、歯・口腔の健康づくりに向けた行動変容につなげることが可能であるとともに、加齢に伴う歯・口腔の健康課題であるオーラルフレイルの予防につなぐことが可能となることから、本事業はR6に拡大しての実施が必要であると考え。</p> <p>R6 予算(実施計画計上) 総事業費 14,745千円(一般財源:11,554千円、県支出金:2,174千円、その他:1,017千円) (内訳)10節 印刷製本費:575千円、11節 通信運搬費:1,166千円、12節 委託料:13,004千円</p>					
事務事業評価による額	千円	節	細節	細々節			